

あそびっくす通信

あそびっくす通信 2012-2号(16号)
 発行：2013年3月18日
 あそびっくす in 東小実行委員会
 名張市桔梗が丘 7-1-86
 名張市立桔梗が丘東小学校内
 編集・発行責任：坂本直司

■ あそびっくす in 東小 2012



一生懸命火起こしする藤岡先生と子どもたち

11月10日(土)、今回で15回目となる「あそびっくす in 東小 2012」を開催しました。参加延べ人数は142名。PTAバザーとともに体験の9講座を同時並行で進めるいつものスタイルで行いました。

今年新たに取り入れた講座は火起こし体験で、講師は以前東小の校長をされていた藤岡先生にお願いしたところ、手作りの火起こし道具を携え懐かしの校舎に来てくださいました。煙が出て、本当に火がついたときには大人も子どもも大喜びでした。

● 三つのうれしいこと

今回は、嬉しいことが三つありました。



一つめは、校区内各自治会の行事に向いた事前PRのおかげで、たくさんの地域の方が体験講座に参加してくれたことです。

左は、4番町の交流事業「きむたくサロン」にて

特に、はがき絵、竹造形、切り絵、連鶴、木ぼっくりの各講座には、大人と子どもが交流しながら体験学習する姿がたくさん見られました。

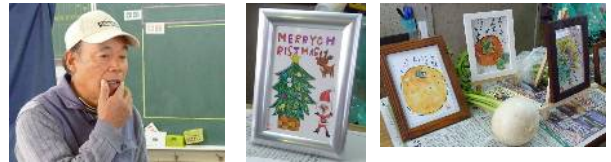


二つめは、西本さんと辻村さんという卒業生二人が手伝いに来てくれたことで、東小をふるさとと思う人が増えてほしいと願っています。

そして三つめは、陶器作りの秦先生(下右)とはがき絵の石川先生が異口同音に「プロの私たちでも今日の子どもたちの作品から、その自由な発想に学ばされることがあった。」とのコメントをいただいたことです。

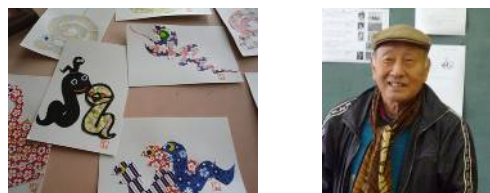


子どもたちのユニークな作品



石川先生とはがき絵の作品

切り絵の川瀬先生も「決まった型にはめず、今年はいつもより自由に子どもたちに任せてみた。すると子どもたちは分からないからいっぱい聞いてきたし、自分で考えて苦労して作品を仕上げた」と。(下は切り絵の作品と川瀬先生)



さらに、久し振りに木ぼっくり復活の九谷先生指導による作品も、大人の想像を超えた面白い作品が次々生まれていました。



九谷先生と木ぼっくり作品、右端は鳥の巣です

このように、未来を担う子どもたちが自由な発想を持ち続けられるように、私たち大人が努めなければなりません。



2年ぶりの時先生と竹造形の作品



出来上がった凧を運動場で上げてみます



お菓子作りの作品は、中華まんとうと簡単モンブラン



連鶴の仲先生と作品(今年は扇形)



講師の先生方と実行委員の皆さん

■ クリスマスクャンدل作り



2学期週末課外授業は12月15日(土)、児童24名、保護者4名の参加で行われました。

1 時間目がパラフィンを溶かし色とりどりのキャンドルを作り、2 時間目はナンキンハゼの実からロウを取り出す実験、さらにはクリスマスにちなんだクイズで楽しみました。



クイズを出題する清水さんとカラフルなキャンドル作品



ナンキンハゼの実

ナンキンハゼから採取したロウに火が灯る



恒例の雑巾がけ

子どもたちはクリスマスイブの夜、家族といっしょに手作りのキャンドルに火を灯して楽しんだことでしょう。

それにしても街路樹の実から和ろうそくの原料になるロウが取れるなんて驚きでした。実験を通じて、ごくわずかしかり取れないことが分かり、昔の人の大変さを知りました。

取り出し方はブログに掲載していますので、ぜひご覧ください。
<http://asobixtukusu.blog.fc2.com/>

■ 手作りコンニャクにチャレンジ

児童21名、保護者1名の参加で3学期の週末課外授業「手作りコンニャクにチャレンジ」を2月2日(土)に行いました。

班によってかたさが違いましたが、ホンモノの芋から作った添加物を一切加えないプリプリのコンニャクを全員でいただきました。



芋と水を混ぜて練って、練って、丸めます



約30分ゆでて出来上がり

みんなで「いただきます！」



● 新しいことへの挑戦

2学期のナンキンハゼからロウを取り出す実験と、3学期に行った芋からコンニャクを作った体験を通じて、子どもたちは昔の人たちの知恵に驚いたことでしょう。

木の実からロウを取り出せることを誰が発見したのでしょうか?あの芋からコンニャクが作れることを誰が最初に気づいたのでしょか?炭酸カルシウムなどなかった時代、凝固剤として灰が使われていたそうです。灰が凝固剤になることを初めて発見した人はすごいですね。

まだまだ世の中には誰も気がついていないことがたくさんあるはずです。子どもたちには、新しいことに挑戦する気持ちを持ち続けてほしいものです。

◆ あそびっくす in 東小を授業で説明

10月26日(金)、3年生の総合学習の時間に「あそびっくす in 東小」の説明をさせていただきました。

漢字は2年生までに習うものだけに留めたパワーポイントの資料を作成し、あそびっくす in 東小の歴史、嬉しかったこと、大変だったことなどをお話しました。最後にはみんなから質問攻めに逢って時間をオーバーしてしまいましたが、とても楽しい経験でした。

この授業の後、クラスのみんなから心のこもった手紙が届き、実行委員の皆さんにも見てもらいました。



3年生の教室で授業をさせていただきました(立っているのが坂本)

▼ 編集後記

- 1) あそびっくす in 東小恒例となった雑巾がけですが、委員長なら自らも実践しなければと思い、家のトイレ掃除と勤務先周辺道路のゴミ拾いを始めました。トイレ掃除は5年目、ゴミ拾いは2年目ですが、おかげで毎朝清々しい気持ちで一日をスタートできるようになりました。
- 2) 今年度初めて公民館や集会所で行われている地域交流事業に伺って「あそびっくす in 東小2012」をPRさせていただきました。それまで「あそびっくす in 東小」は、子どもたちだけのものと、多くの皆さんが認識されていましたが、今回の説明で地域との交流を目指していることをご理解いただきました。
- 3) コンニャク作りでは、実行委員の杉本さんに初めて講師をお願いしました。前日に見本を作ってくださいるなど大活躍で、手慣れた腕前はさすがでした。
- 4) 地域の皆さん、保護者の皆さん、先生方、講師の皆さん、そして子どもたち、この一年ありがとうございました。